

**第69回全国社会科教育学会・第37回鳴門社会科教育学会  
合同全国研究大会(ウェブサイト開催)**

**大会二次案内(プログラム)**

1. 主催 全国社会科教育学会・鳴門社会科教育学会
2. 後援 徳島県教育委員会, 鳴門市教育委員会, 日本教育大学協会社会科部門
3. 場所 下掲のウェブサイト上で開催する(実行委員会は鳴門教育大学に置く)  
<http://jerass69naruto.jp>
4. 開催期間・日時
  - (1) ウェブサイト上の掲示: 2020年10月24日(土)~12月25日(金)  
※10月25日(日曜)13時から60分程度, ウェブサイト上にてシンポジウムに関するディスカッション(ライブ)を開催します  
※ウェブサイト掲載期間については, 当初11月末までと告知していましたが, 自由研究発表における意見聴取と座長からのコメントの充実を図るため, 12月25日(金)までに延長することといたしました。
  - (2) 理事会: 別途, 理事宛に案内します
  - (3) 総会: 別途, 会員宛に案内します。
5. 参加費
  - (1) ウェブサイトの閲覧は無料(ただし事前に参加者登録が必要です)。
  - (2) 発表者は, 演題登録の際に, 1000円の「自由研究発表登録料(発表資料のウェブサイト掲載費用を含む)」が必要です。
6. 大会への参加方法
  - (1) 参加者登録をした方に, シンポジウム・自由研究発表のウェブサイトアクセスするための情報(IDやパスワードなど)を大会期間前に提供いたします(10月の第4週目に送信予定)。参加を希望される方は, 大会のウェブサイト(<http://jerass69naruto.jp>)にアクセスいただき, 10月9日(金)までに, 参加者登録の手続きを完了させてください。期日を過ぎての申込みには一切応じることとはできません。なお, 参加者登録のみの場合は無料となります。
7. 問い合わせ先等  
〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748 鳴門教育大学大学院学校教育研究科  
担当: 梅津正美・金野誠志・伊藤直之・井上奈穂  
E-mail: [jerass69naruto@gmail.com](mailto:jerass69naruto@gmail.com)  
TEL: 088-687-6373(梅津) 088-687-6488(金野) 088-687-6370(伊藤) 088-687-6361(井上)

**重要な締切日一覧**

- (1) 発表資料の入稿(pdfのアップロード): 9月28日(月)
- (2) 研究大会への参加申込み(参加者登録): 10月9日(金)
- (3) 座長のコメント原稿: 11月30日(月)

## シンポジウム

動画掲載：10月24日・10月25日の2日間のみ

参加者からの意見聴取：10月24日(土)17:00で〆切

ZOOMによるディスカッション：10月25日(日)13:00～14:00

### テーマ 社会科教育の責任—教育に対する広範な要求にどのように向き合うか—

新しい学習指導要領にもとづく教育課程の小学校における全面実施を受け、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、いわゆるコンピテンシー・ベースの授業作りが百花繚乱の様相を呈している。本大会では、この動きについて、今一度、批判的に検討してみたい。

「何ができるようになるか」を育成すべき資質・能力の核としていることについて、果たして社会科教育はどこまでその責任を負うことができるのか。たしかに、学習指導要領は「社会的な見方・考え方」を働かせることを「教科の本質」として定めることで、社会科教育が資質・能力の育成に無制限に関与することにくさびを打っていると解されているが、そもそも、育成したい資質・能力が先にあって、それをもとに教育内容を構成するというスタンスは、“知識や科学の体系”を壊すものとなっていないか。結果として、「何を知ったか」という要請に対して、日常生活経験で会得できるような知識の確認・定着に陥っていたり、あるいは、活動主義や形式主義のリスクとして、社会に関する知の体系とは無関係な形で、ジェネリック・スキルの育成に関与せざるを得なくなっている。

「社会に開かれた教育課程」という過大な要請も相俟って、社会科教育の責任は無制限に拡大していないか。負うべき責任の構成について、さまざまな見解をもとに、今、求められている社会科のあるべき姿を問い直す契機としたい。

#### 提案者

見方・考え方を働かせた社会科ならではの資質・能力の育成  
～中央教育審議会専門部会等で行われた議論から～

濱野 清（広島県立教育センター）

歴史教育に今、求められること—ジェンダー主流化の重要性

小浜正子（日本大学）

見方・考え方を働かせた資質・能力育成の社会科教育のあり方とその社会的意義

坂田大輔（徳島大学）

市民形成社会科の提唱と単元開発「昆布ロード」の提案

藤原孝章（同志社女子大学）

コメンテーター 木村博一（広島大学）

コーディネーター 梅津正美（鳴門教育大学）

## 自由研究発表の分科会編成

資料掲載期間：10月24日（土）～12月25日（金）17:00迄

参加者からの意見聴取：10月30日（金）17:00で〆切

座長によるコメントの掲載：12月上旬～12月25日（金）

### [第1分科会]

座長：上越教育大学 茨木 智志

1-1 昭和初期における東京高等師範学校附属小学校の公民教育論

－鹿兒島登左の理論と実践をもとにして－

福田 喜彦（兵庫教育大学）

1-2 戦前公民科成立期における公衆衛生の位置づけと取り扱い

－実業補習学校公民科教授要綱と中学校教授要目の比較を通して－

釜本 健司（新潟大学）

1-3 地域教育計画「本郷プラン」の現代的再評価

取釜 宏行（広島大学大学院）

### [第2分科会]

座長：兵庫教育大学 關 浩和

2-1 生活科との接続を意識したオリエンテーション的な授業の在り方

－第3学年の地域学習（社会科、総合的な学習の時間）への効果－

柳沼 麻美（東京都新宿区立四谷小学校）

2-2 小学校社会科における概念的知識の探究を通じた社会参加意欲の向上に関する研究

－第3学年のお店の授業を事例にして－

新井 涼子（岡山大学大学院）

2-3 子供の地域認識が連続的に深まる社会科学習デザイン

－小学3年「市の様子」から「市の変化」への連続配列によるカリキュラム・マネジメントを通して－

井手 司（福岡教育大学附属福岡小学校）

### [第3分科会]

座長：文教大学 伊藤 裕康

3-1 社会探究的な見方・考え方を働かせる小学校社会科の授業構成

－第4学年開発単元学習「郷土の先人の働き」を題材として－

樋口 勇輝（八代市立八代小学校）

3-2 小学校高学年において「身近な地域認識」を深める授業に関する研究

－身近な地域素材と第6学年の学習内容とのつながりから－

久野 雄平（いわき市立小名浜東小学校）

3-3 兵庫県における小学校社会科副読本の現状から

－Blockdiagramを使った小学校中学年社会科学習の試み－

古岡 俊之（神戸女学院大学）

[第4分科会]

座長:島根大学 加藤 寿朗

4-1 「観光のまなざし」論を組み込んだ社会科観光学習

－小学校第5学年 単元「人気観光地！京都伏見神社の人気の謎を探れ」の場合－

佐藤 克士（武蔵野大学）

内川 健（成蹊小学校）

4-2 小学校社会科における「深い学び」の学習活動を組み込んだ授業開発

－第5学年「食料生産 米作りのさかんな地域」を事例として－

植田 真夕子（弥富市立日の出小学校）

4-3 ネットワーク構造に着目した小学校社会科情報単元の研究

－「情報ネットワーク社会探究学習」のモデル開発を中心に－

新谷 和幸（長崎大学）

[第5分科会]

座長:鹿児島大学 田口 紘子

5-1 社会的な見方・考え方を働かせ、対話を通して深い学びにつなぐ社会科学習の創造

－第6学年 武士の政治について調べよう－

河野 富男（宇多津町立宇多津北小学校）

馬場 直明（三豊市立笠田小学校）

5-2 戦争単元への主体的な学びを促す社会科授業開発への一考察

－小学校社会科小単元「戦争と人々の暮らし」を事例として－

杉浦 勉（北翔大学）

5-3 小学校社会科中心に行う人権教育－「差別を見抜く目」の育成をめざして－

岩本 剛（たつの市立小宅小学校）

[第6分科会]

座長:兵庫教育大学 米田 豊

6-1 社会科における「租税」をテーマとした授業開発と実践－外部機関との連携を通して－

藤井 時（鳴門教育大学大学院） 川岡 杏子（鳴門教育大学大学院）

笹岡 綾馬（鳴門教育大学大学院） 桧下 知夏（鳴門教育大学大学院）

前田 理拓（鳴門教育大学大学院） 高倉 健輔（鳴門教育大学大学院）

高平 知侃（岡山県立玉野光南高等学校） 井上 奈穂（鳴門教育大学）

6-2 民主的な国家・社会の形成者の育成をめざす小学校租税・財政学習の授業開発

－不信社会問題を教材にして－

藤瀬 泰司（熊本大学）

6-3 リスクコミュニケーションの視点を取り入れた小学校政治学習の開発

－単元「わたしたちの暮らしと政治」を事例として－

吉川 修史（広島大学大学院／加東市立社小学校）

6-4 価値判断力や意思決定力を育成する社会科授業の開発

－第25回参議院議通常選挙をもとに国民主権の在り方を考える授業を通して－

梅澤 真一（筑波大学附属小学校）

[第7分科会]

座長:山口大学 田本 正一

7-1 費用便益分析を組み込んだ小学校公民学習の開発ー公共事業の経済的な理解をめざしてー

松浪 軌道 (西宮市立名塩小学校)

7-2 自律的政策提案を促す小学校社会科授業構成

ー学習者の興味の発達にもとづく社会問題の自覚化をとおしてー

長川 智彦 (姫路市立南大津小学校)

7-3 小学校における主体的・対話的で深い学びを実現する社会科授業

ー社会機能の分析モデルを活用した授業づくりを通してー

吉元 輝幸 (鹿児島市立西谷山小学校)

[第8分科会]

座長:京都女子大学 松岡 靖

8-1 「楽しい授業とは何か」の検討を通して考える、深い学びをつくる社会科授業のあり方

ー有田和正実践における教材論の分析を通してー

恒川 徹 (東京学芸大学附属竹早小学校)

8-2 社会的レリバンスの構築を目指した授業実践

ー学習者が教科内容と切実性をどのように関連づけているのかー

杉田 進太郎 (岡山大学大学院)

8-3 日本語指導が必要な児童に対する社会科の授業づくりー小学校における歴史学習を事例にー

福田 弥彦 (霧島市立国分小学校)

[第9分科会]

座長:島根大学 宇都宮明子

9-1 中学校社会科における価値の意識化を図る授業開発

ー歴史的分野「江戸時代の政治改革」の実践の場合ー

荒木 詩織 (広島大学大学院)

9-2 中学校社会科における歴史大観学習の原理

椎森 公詞 (愛媛大学大学院)

9-3 中学校社会科における社会認識の成長を促すアクティブ・ラーニング

ー資料・ワークシートの工夫に重点をおいた実践的・実証的研究ー

上野 紗季 (岡山大学大学院)

[第10分科会]

座長:愛媛大学 井上 昌善

10-1 社会科における価値観形成学習の展開ー地域的特色の分析による地理的分野の授業開発ー

吉村 功太郎 (宮崎大学)  
渡邊 直人 (宮崎大学大学院)

10-2 21世紀に必要な資質・能力を認識する生徒を育成する社会科授業

ーAI時代の働き方を考える学習を通してー

仙田 健一 (上越教育大学附属中学校)

10-3 経営の視点を取り入れた社会科学学習指導の方法ービジネスモデルキャンパスの活用を通してー

鬼塚 拓 (宮崎大学教育学部附属中学校)

[第11分科会]

座長:徳山大学 大坂 遊

11-1 社会系教員志望学生はどのように社会科観を構築しているか?ー大学生の「生活世界」に注目してー

真崎 将弥 (広島大学大学院)

11-2 初任者教師による協働的成長過程の解明

ー「洗い流し」を乗り越える「私たち」のセルフ・スタディー

川向 雄大 (尼崎市立園和小学校)  
片山 元裕 (豊島区立富士見台小学校)

11-3 授業者の省察行為を支援する方法論の開発ーOPPAを活用した熟練教師の授業改善に着目してー

中澤 尚紀 (大阪教育大学大学院)

11-4 カンボジア社会科カリキュラム・教科書開発者によるゲートキーピング

ー教育省『開発マニュアル』を手がかりにー

守谷 富士彦 (広島大学大学院)

[第12分科会]

座長:筑波大学 國分 麻里

12-1 歴史授業能力の育成を目指す韓国教師教育研究の動向と現状

金 道煉 (広島大学大学院)  
権 五鉉 (韓国慶尚大学校)

12-2 日韓の歴史教科書における植民地期関係事項の比較研究

梅野 正信 (学習院大学) 新福 悦郎 (石巻専修大学)  
福田 喜彦 (兵庫教育大学) 真島 聖子 (愛知教育大学)  
白井 克尚 (愛知東邦大学) 蜂須賀 洋一 (上越教育大学)  
池野 範男 (日本体育大学) 久留島 浩 (国立歴史民俗博物館)  
大浜 郁子 (琉球大学) 徐 鐘珍 (東北亜歴史財団)

12-3 中国における社会科関連教師教育改革の動向と現状

徐 菁怡 (広島大学大学院)  
沈 曉敏 (中国華東師範大学)  
永田 忠道 (広島大学)

[第13分科会]

座長:中央大学 森茂 岳雄

13-1 中国の高校系統地理教科書におけるアフリカ記述の機能とその変化

－中国の国家政策との関係に注目して－

孫 玉珂 (広島大学大学院)

13-2 20世紀初頭の中国における「郷土教育」－新教育思想と制度への日本からの社会的影響－

松 婷 (愛知教育大学大学院)

13-3 国際理解教育の動向とその特質に関する日中比較研究

周 星星 (岡山大学大学院)

13-4 中国の中学校地理および歴史教科書の民族に関する記述についての考察－多文化教育を視点として－

赫連 茹玉 (岡山大学大学院)

[第14分科会]

座長:東北学院大学 坪田 益美

14-1 オーストラリア社会科環境学習における批判的環境リテラシーの育成

押井 那歩 (東京学芸大学連合大学院)

14-2 オーストラリア歴史教育のナショナル・アイデンティティ形成としての特質

－オーストラリアン・カリキュラム HASS「歴史」および NSW 州 HSIE「歴史」シラバスを手がかりに－

両角 遼平 (広島大学大学院)

14-3 「歴史的思考」を実践・評価するための概念の構築過程

－Seixas の Historical Thinking Concepts を事例として－

渡邊 竜平 (広島大学大学院)

[第15分科会]

座長:山梨大学 服部 一秀

15-1 市民性教育における「文化的参加」の意義と可能性－現代ドイツ文化教育の展開に着目して－

中山 智貴 (兵庫教育大学連合大学院)

15-2 市民性の育成を目指す高校における宗教教育のあり方に関する一考察

－公民科「倫理」における宗教記述を中心として－

斉藤 雄次 (名古屋市立大学大学院)

15-3 主権者教育における外部人材の活用の意義と課題

－アクティブ・シティズンシップモデルを導入した主権者教育の構想－

山田 凧紗 (岡山大学大学院)

[第16分科会]

座長:岡山大学 山田 秀和

16-1 歴史教育における批判的意思決定力の育成

－高校歴史単元「ファシズム社会における公共圏の成立」の開発と実践を通して－

牧野 和也（兵庫教育大学連合大学院）

16-2 学習文脈は高校生の歴史授業に対する意識にどのような影響を与えるか？

－進路意識との関係性に着目して－

西村 豊（高水高等学校）

16-3 歴史教育におけるメタ認知能力の育成・評価方略

－本質的概念・手続的概念の自己モニタリング機能に着目して－

玉井 慎也（広島大学大学院）

16-4 社会科における個別的、孤立的な知識・概念形成の克服

－「社会的な見方・考え方」育成の方法に関する一考察－

吉永 潤（神戸大学）

[第17分科会]

座長:立命館大学 角田 将士

17-1 批判的な歴史的思考を通して価値の自覚化を目指す日本史授業開発

－「足利義満の日明貿易」の授業実践から－

田中 亮太（広島大学大学院）

17-2 国民国家を相対化する「歴史総合」の授業開発

－近代化の過程で形成された私たちの意識を相対化する－

亀田 まゆみ（兵庫教育大学大学院／兵庫県立篠山鳳鳴高等学校）

17-3 解釈批判学習、批判的解釈学習、仮説吟味学習で構築する「歴史総合」の授業開発

松村 淳（岩国市立通津小学校）

[第18分科会]

座長:玉川大学 宮本 英征

18-1 文学作品を教材として活用した高校世界史の授業内容開発

－T・S・エリオット「寺院の殺人」を題材として－

堤 敏浩（佐賀県立多久高等学校）

18-2 グローバルヒストリーの視点を組み込んだ「歴史総合」の授業開発

－空間的スケールを用いた「歴史の問い直し」を意図して－

杉山 正人（兵庫教育大学大学院／兵庫県立有馬高等学校）

18-3 歴史専門教員のための「地理総合」を考える－内容A.「地理情報システム」をどう扱うか－

坂口 克彦（東京都立豊多摩高等学校）



[第19分科会]

座長:熊本大学 竹中 伸夫

19-1 歴史像の再構築を促す大観学習の意義－イギリスにおける「Big Picture 論」に注目して－

高松 尚平 (広島大学大学院)

19-2 エンパシーを活用した歴史授業のプログラム開発

－感情との融合が学習者の歴史認識に与える影響に注目して－

陳 佳穎 (岡山大学大学院)

19-3 異質な他者との対話に向けた想像力を養う歴史教育の可能性－歴史的エンパシーに着目して－

小野 創太 (広島大学大学院)

[第20分科会]

座長:広島大学 草原 和博

20-1 幼小連携の法関連教育プログラムの開発

二階堂 年恵 (広島文化学園大学)

合原 晶子 (広島文化学園大学)

沖西 啓子 (広島市立長東西小学校)

20-2 真正な学びを目指した教科等横断学習における社会科の役割

－福岡教育大学附属福岡小学校・附属小倉中学校の事例から－

豊嶋 啓司 (福岡教育大学)

齋藤 淳 (福岡教育大学附属福岡小学校)

柴田 康弘 (福岡教育大学附属小倉中学校)

20-3 グローバル教育の第一世代と第四世代の比較

安藤 輝次 (関西大学)

[第21分科会]

座長:愛知教育大学 土屋 武志

21-1 コロナ下における中学校歴史的分野・歴公融合単元の実践－「近代の日本」を例として－

山形 友広 (筑波大学附属中学校)

21-2 新型コロナウイルス期に学校現場で社会科はどのように向き合ったか

－授業づくり・学級づくり・教員研修－

峯 明秀 (大阪教育大学)

阿部 雅之 (マレーシア:ペナン日本人学校)

宮本 一輝 (インドネシア:ジャカルタ日本人学校)

山方 貴順 (奈良市立都跡小学校)

堀口 健太郎 (大阪教育大学附属平野中学校)

21-3 江戸時代から昭和にかけて人々は疫病とどう向き合ってきたのか

－大阪府池田市「稲東家日記」を中心に－

丹松 美代志 (大阪教育大学)

[第22分科会]

座長:お茶の水女子大学 岡田 了祐

22-1 話し合い活動の質的調査からみる、情報単元導入に関する一考察

－A 小学校第5学年情報単元の記録をもとに－

小川 怜志 (浜松市立気賀小学校)

22-2 中学校における「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法

－自己調整力を高めるワークシートの工夫－

石本 貞衡 (練馬区立大泉中学校)

22-3 自己調整力を育む社会科学習をいかに支援するか

－形成的アセスメントとしての個別的フィードバックの機能－

宅島 大堯 (広島大学大学院)

[第23分科会]

座長:広島大学 川口 広美

23-1 教員の資質としてのグローバル・シティズンシップの意義とその育成のあり方

桑原 敏典 (岡山大学)

林 大智 (岡山大学大学院)

23-2 グローバル・シティズンシップ教育としての総合的な学習の特質と課題

高 雨 (岡山大学大学院)

23-3 社会科国際理解教育における問題解決型学習の理論構築

－国際理解教育における「文化理解」と社会科における「合意形成」の接合－

大山 正博 (神戸大学大学院)

23-4 アメリカ合衆国における社会科学習方法論のグローバル性－成立期を中心に－

鴛原 進 (愛媛大学)

[第24分科会]

座長:兵庫教育大学 阪上 弘彬

24-1 SDGs・持続可能な社会の形成と関わらせた、汎用的な小学校社会科授業展開

－社会的な見方・考え方から社会的事象の意味理解, 資質・能力の育成に繋げる－

大西 洋 (愛知教育大学大学院・静岡大学大学院/静岡市立麻機小学校)

24-2 SDGsの視点から見る哲学教育－福岡県大牟田市の海洋教育を中心に－

岩成 優佑 (広島大学大学院)

24-3 クリティカルリーディングスキルを育成するための大学英語授業の開発、実践とその評価

藤崎 さなえ (宮城学院女子大学)

[第25分科会]

座長:鹿児島大学 溝口 和宏

25-1 日本の小学生による「議論に開かれた教室風土 (open classroom climate)」の認識

－IEAの国際比較調査を改良した項目の計量分析－

大脇 和志 (筑波大学大学院)

25-2 社会化－対抗社会化のジレンマを乗り越える社会科カリキュラムデザインの提案

－単元「学校は民主的か？」の開発を通じて－

奥村 尚 (広島大学大学院)

25-3 ICCS調査に内在する市民性・市民性教育の特質－civic knowledge (市民的知識)に焦点化して－

小栗 優貴 (広島大学大学院)

[第26分科会]

座長:鹿児島大学 福井 駿

26-1 アメリカ新社会科の実践と理論の再評価

－Seif Elliottによる“Naturalistic field study”に着目して－

渡邊 大貴 (広島大学大学院/広島県広島市立楽々園小学校)

26-2 論争問題学習によって教師はどのような学力を形成したいと考えているか

別木 萌果 (岡山大学大学院)

26-3 平和・安全保障政策を考える熟議型論争問題学習の理論研究

－グラウンデッド・セオリー・アプローチによる分析をもとに－

長田 健一 (就実大学)

26-4 社会科における命の教育(2)－怒りの表出に関わる社会問題への取り組み－

井門 正美 (北海道教育大学)

武田 竜太 (新十津川町立新十津川中学校)

石川 祐基治 (千葉市立士気小学校)

[第27分科会]

座長:岐阜大学 田中 伸

27-1 現代日本の政治経済体制から見る政治教育の可能性－丸山眞男の政治学を手掛かりに－

公文 良彦 (高知大学)

27-2 社会科における「切実性」を通じた政治的主体性の育成

馬場 大樹 (千葉経済大学)

27-3 AI社会における社会系教科－ネオ・サイバネティックス理論を手がかりとして－

松井 克行 (西九州大学)

## シンポジウムの日程および参加手順

### (1) 提案者による発表資料および動画の閲覧

10月24日(土)よりウェブサイトに掲載される発表資料と動画をご覧ください。なお、動画は、10月24日(土)、10月25日(日)のみの閲覧となります。発表資料については12月25日(金)まで掲載されます。

### (2) 参加者からの質問・意見の聴取

10月24日(土)17時までにウェブサイト上の「質問・意見」にアクセスいただき、提案者に対する質問や意見を投稿してください。質問・意見を踏まえ、翌25日(日)にディスカッション(ライブ)を行います。なお、時間の制約から、いただいた質問・意見はコーディネーターが整理・分類し、ディスカッションに反映させます。

### (3) Zoomによるシンポ登壇者のディスカッションの開催

10月25日(日曜)13時から60分程度、ウェブサイト上にてディスカッション(ライブ)を開催します。シンポジウムページ上の「Zoomによるディスカッション(ライブ)」にアクセスいただければ、Zoomにて参加できます。なお、参加者はこのディスカッションの閲覧のみとなります。チャット機能等は使用しません。

## 自由研究発表の発表予定者の方へ

- (1) 発表の申し込みをされた方は、発表資料の作成と入稿をお願いします。
- (2) 発表者は1件の演題につき、1種類の発表資料をpdfファイルで作成し、ウェブサイト上で入稿（アップロード）します。なお、ファイル名は、演題番号 発表者氏名でご提出ください。（例）第1分科会の1番目であれば、1-1 学会三郎 pdf となります。
- (3) 発表資料の体裁やページ数は問いません。容量20MB以内のpdfファイルであれば、レジュメのほか、スライド、ポスターなど、あらゆる体裁での入稿が可能です
- (4) 複数のファイル入稿はできません。1つのpdfファイルに結合して入稿してください。また、容量の制約から、動画や音声を伴ったファイルの入稿はお控えください。
- (5) HP上の自由研究発表資料は、ダウンロード不可、印刷不可、テキストコピー不可の設定とします。肖像権、著作権等に十分配慮した上で資料を作成ください。
- (6) ウェブサイトに、pdfファイル入稿用フォームがあります。このフォームを通してpdfファイルをアップロードして、9月28日(月)までに入稿手続きを完了させてください。
- (7) 上記の期日を過ぎてのファイルの入稿や差し替えには、一切応じることはできません。
- (8) 10月24日(土)～12月25日(金)の大会開催期間中の掲載資料は以下のようになります。
  - ①10月24日(土)～12月25日(金)：自由研究発表の資料、要旨
  - ②12月初旬～12月25日(金)：座長によるコメント※状況により変更の可能性があります。
- (9) 自由研究発表への質問・意見は、10月30日(金)17時まで回収します。各分科会のページ上にあります「質問・意見」にアクセスいただき、ご投稿ください。受け付けた質問・意見は、大会実行委員会によって各発表者と各分科会の座長に送付されます。
- (10) 分科会の各発表内容と「質問・意見」をもとに座長コメントが作成されます。座長コメントは、12月上旬にウェブサイト上に掲載される予定です。
- (11) 諸事情で発表を取りやめる方は、速やかに大会実行委員会までご連絡(jerass69naruto@gmail.com)をお願いいたします。なお、すでに振込みを済まされた「自由研究発表登録料」の返金には応じることができません。

## 参加者の方へ（自由研究発表の日程および参加手順）

### （１）参加者による発表資料の閲覧

10月24日(土)9時よりウェブサイトにおいて発表資料と座長によるコメントをご覧ください。なお、発表資料と座長によるコメントについては12月25日(金)まで掲載されます。

### （２）参加者からの質問・意見の聴取

自由研究発表への質問・意見は、10月30日(金)17時までに回収します。各分科会のページ上にあります「質問・意見」にアクセスしていただき、ご投稿ください。受け付けられた「質問・意見」は、大会実行委員会から各発表者と分科会の座長に送付されます。なお、発表資料が必要な場合もこちらからご連絡ください。「質問・意見」の内容は、基本的には発表者にそのままお渡ししますので、各自で交渉していただくことになります。

### （３）座長によるコメントの閲覧

12月上旬に各分科会の各発表内容と座長コメントをウェブサイト上に掲載する予定です。各分科会における議論や発表内容に対する総括を把握することができます。

### 【重要】発表資料にかかるセキュリティ保護について

今大会では、従来の集会形式の研究大会と違って、発表者と参加者の方々が直接対面することがないために、シンポジウムおよび自由研究発表にかかるウェブサイト掲載資料の扱いにおいて、剽窃や無断転載などを招くリスクが指摘されております。そこで、大会実行委員会では、掲載資料について以下のようなルールを定めました。発表者・参加者の方は、下記のルールについて理解・同意したうえで、大会ウェブサイトログインしていただき、ルールを遵守していただきますよう、お願いいたします。

- （１）ログインのためのIDおよびパスワードは絶対に他人に譲渡しないでください。
- （２）シンポジウムにかかる動画のダウンロードは禁止します。
- （３）シンポジウムおよび自由研究発表にかかる発表資料（pdf）については、資料収集目的でのダウンロードと印刷及びテキストコピーを禁止します。資料が必要な場合は、各分科会及びシンポジウムページにあります「質問・意見」から発表者にご連絡ください。